

「子育てママの会」と一緒に活動する相乗効果 (NPO 法人青空見聞塾 岐阜県東白川村)

1. 村の子どもは村で育てる「子育てママの会」が基盤

岐阜県の東白川村は、人口 2,600 人強の小さな村です。7 年前の平成 17 年、村に 2 つあった保育園のうち 1 園は、人口減少に伴い廃園することになり、その園舎は別の使用目的で利用されることに決まりました。地域の主婦有志で反対署名を集めた結果、学童保育所として存続することが認められました。その運営の受け皿として、有志の会「子育てママの会」を設立しました。

「子育てママの会」(以下、ママの会)では、数人のボランティアが交代で放課後の児童の面倒をみてきました。ボランティアのため、自分の家庭や子育てにも負担がかかるうえ、利用料は預ける子どものおやつ代のみで、保険もかけられないので何かあった場合はそれぞれ自己責任という、運営も経営も苦しいものでした。

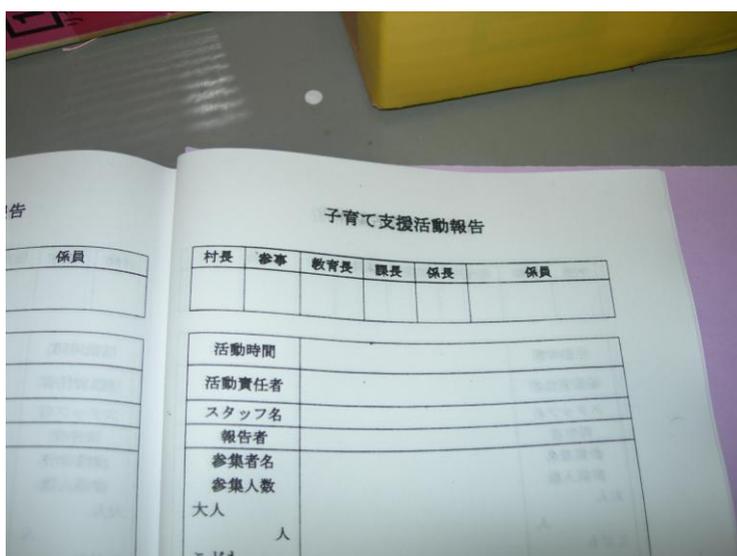
それでも参加する母親達は「村の子どもは村で育てる」という思いがあって頑張ってきました。その頑張りに、自然体験活動中心に地域で活動していた「NPO 法人青空見聞塾」が注目し、ママの会に「一緒にやろう」と声をかけたのが発端です。



2. クラブとして新たなスタート

総合型地域スポーツクラブとして活動しようとしていた「NPO 法人青空見聞塾」(以下、クラブ)は、活動には村から予算が付き、指導者にも謝金が出るようになっていました。ママの会の活動が「子育て支援部門」としてクラブの一部門に加わったことで、経費が出るようになったうえ、クラブが保険業務や必要備品の購入、会計報告などを担当してくれます。保険は、子どもはもちろんスタッフも入っています。こうして、ママの会は動きやすくなり、その活動はより輝きを増しました。

学童保育を希望する場合は、クラブへの会員登録(年会費 1 人 8,000 円)が必要ですが、ビジター会員制度で一時預かりも行っていきます(半日 700 円、1 日 1,400 円)。ママの会のスタッフは、子育て中の母親から子どもの手が離れた主婦まで約 20 名が当番制で行い、時給は 750 円、活動時間分で月ごとに支払われます。活動日誌は毎回記録として残し、クラブの代表者が確認しています。このように地域の中で主婦の雇用の場も生み出しました。



3. 活動内容～スタッフのある 1 日から

参加人数が多いのは、やはり夏休みです。スタッフのある 1 日の日課をご紹介します。子どもを預ける親へは、ゲーム機やマンガなどは持たせないように申し込み時点をお願いしています。

- 7:50～ 鍵を取りに行く。水道元栓開け（砂場裏・足洗い場横）
カーテン開け・戸や窓を開けて喚起、ポットで湯沸かし・やかんで麦茶づくり
- 8:00～ 学童受け入れ ※おやつ代徴収・健康状態や持ち物チェック・利用手続き
- 9:30～10:00 学習
- 10:00 おやつ（学校でプール開放のある日は、学童保育所から学校に送り出します）
- 11:30 プール開放に出席する子どもの学年、名前、人数を小学校に連絡
- 11:30 昼食、かたづけ
- 12:45 プールへのスクール(送迎)バス乗車の見守り、学童全員にネームカードを首にかけさせる
- 16:02 プールからのスクール(送迎)バス降車の迎え、学校に全員到着を報告、
帰宅準備、片づけ、掃除、お帰り ※一時預かり利用料の入金伝票を忘れずに渡す
- 17:00 書類(活動日誌)記入、カーテン・窓・戸閉め、水道元栓締め、施錠、鍵返却
（プールのない日の午後は自由遊び）

4. 相乗効果と展望

村という小さいエリアでの利点は、子ども同士はもちろんのこと、大人が皆どこの誰の子どもかがわかっているという点です。スタッフも同じ名字が多いので、皆さん下の名前（かおりさん、恵美子さんなど）で呼んでいます。若いスタッフが経験豊富なスタッフに悩みの相談もしたりしています。

クラブが子育て支援事業を請け負ったことで新たな絆もでき、ママの会の活動との相乗効果でクラブの発展にもつながっています。今年度、村からの子育て支援に関する助成金が110万円であり、クラブの子育て支援は、ますます活動の幅が広がっていくことでしょう。

（岸田美也子 岐阜県クラブ育成アドバイザー）



【NPO 法人青空見聞塾 プロフィール】

1. 設立 年月日：平成 22 年 6 月 1 日
経緯：平成 17 年自然体験プログラム事業として青空見聞塾設立。平成 22 年法人化
2. 地域 人口：約 2,672 人（加茂郡東白川村、平成 24 年 5 月現在）
特性：岐阜県の東部、美濃と飛騨の境界に位置する東白川村は、標高 1,000m 級の美しく豊かな山々に囲まれ、清流白川が村の中央を流れている。総面積の 90%が山林で、そのうち 73%を占める人工林は、東白川村が誇るブランド「東濃ひのき」が植林されている。
3. 運営 会員数：正会員 10 名、賛助会員 40 名（平成 24 年 6 月現在）
予算規模：約 320 万円（平成 23 年度）
4. 特徴 地域の自然環境を生かした自然体験プログラム事業を基盤に子育て支援、アウトドア生涯スポーツ振興、各種交流活動等で地域活性化を図り、家族や仲間をはじめとする多くの人たちとの交流の場をつくり、人や自然とのつながりを深めることで豊かな心と健康を育むことを目的としている。
5. 連絡先 〒509-1303 岐阜県加茂郡東白川村五加 1349 番地
TEL：080-1615-7700
Email：info@aozora-kenbun.com URL：<http://www.aozora-kenbun.com/>

関連リンク：岸田美也子氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/483/Default.aspx>